

●自覚症状がある場合は、がん検診ではなく医療機関を受診ください。保険診療となります。

●立つことが難しいなど検診車での対応が難しい方は、事前に健康・医療連携課までご連絡ください。

●以下に該当する方は検診を受診できません。主治医、または専門の医療機関へご相談ください。

◇胃・肺・乳がん検診

- ・妊娠中、妊娠の可能性がある
- ・インスリンポンプおよび持続グルコース測定器（持続血糖モニター）を装着している方

◇胃がん検診（胃内視鏡）

- ・明らかな出血傾向がある
- ・急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患
- ・呼吸不全がある
- ・咽頭、鼻腔などに重篤な疾患があり、内視鏡を挿入できない

◇胃がん検診（バリウム）

- ・バリウム服用によるアレルギーがある
- ・バリウムが気管に毎回、または多量に入ったことがある
- ・バリウム服用後、気分不良で検査を中断したことがある
- ・胃の全摘手術を受けた
- ・腹部に強い痛みなどの症状がある
- ・過去に腸閉塞や腸ねん転、腸の炎症性疾患（大腸憩室炎、潰瘍性大腸炎、クローン病、虚血性大腸炎など）と診断され、入院や治療を受けた
- ・心臓病、腎臓病で水分摂取の制限がある
- ・慢性呼吸不全で酸素吸入している
- ・片方の肺を全部摘出している
- ・脳卒中などによる麻痺や運動障害で寝返りができない
- ・食事中よくむせる
- ・体重が135kg以上（保健センター受診の場合のみ）

◇乳がん検診

- ・乳腺疾患で治療中、経過観察中である
- ・脳室腹腔短絡術（VP シヤント）を受けた
- ・豊胸手術を受けた
- ・腕を挙げるのが困難
- ・胸部に医療機器を装着している（心臓ペースメーカー、CV ポート等）
- ・授乳中、又は卒乳していても搾乳するとまだ乳汁分泌がある